こども・思春期メンタルクリニック主催

こどものこころの発達セミナーpart３

「共同注意～こどもと他者とのコミュニケーションの発達～」

本セミナーは保育園や幼稚園、子育て支援センターなどで子育て支援に携わっている方たちを対象に、あらためて子どもの育ちについて考えるためのセミナーです。Part3 では、乳児期から幼児期にかけての「共同注意」の発達に焦点をあてて学びます。

この春の季節、「あのお花きれいだね」と子どもと大人が一緒に眺め、その美しさや雰囲気を共に味わうことも多いですね。このように、一つの事物（対象）の特徴を互いに共有するコミュニケーションの形を共同注意（Joint Attention）といいます。乳児は大人との間で対象を媒介に場面を分かち合うことによって相手（他者）の意図を理解し、周囲の世界について認識するようになります。

この共同注意によるコミュニケーションは言語発達の大切な基礎であり、ひいては人間らしい文化の生まれる源にもなります。

今回は、この『共同注意』の発達の研究において第一人者である早稲田大学教授、大藪 泰先生にご講義いただきます。後半はこどもの臨床の事例を臨床心理士がお話しします。

また、前回と同様に 30 分間の質疑応答の時間を設けますので、参加者のみなさんが日頃感じている疑問や実際に現場で困っていることについて発言していただき、講師の先生と共に考えていきたいと思います。

＜プログラム＞

司会：木部則雄（こども・思春期メンタルクリニック）

第一部 13 時 30 分～15 時 00 分
「共同注意の発達」　講師：大藪 泰
15 時 00 分～15 時 15 分
休　憩
第二部 15 時 15 分～16 時 15 分
「共同注意を促すかかわりを取りいれた心理相談」　講師：井口由子
16 時 15 分～16 時 45 分
「質疑応答」　講師：大藪 泰／井口由子

【日時】平成 27 年 5 月 31 日（日）13 時 30 分～16 時 45 分※開場 13 時 10 分
【場所】TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター、カンファレンスルーム７Ｄ（７階）
【対象】保育所、児童館・子育て支援センター・保健センター、幼稚園などで子育て支援にあたる支援者／臨床心理学を学ぶ大学生及び大学院生
【募集人数】60 名　※先着順に受付け、人数になり次第締め切ります
【参加費】3000 円※当日受付にてお支払いいただきます
【申し込み手順】
必要事項を記載の上、下記メールアドレスにお申込みください。
① 氏名　②住所　③電話番号　④メールアドレス　⑤ ご所属と職種　⑥講師への質問

申し込みメールアドレス：seminar@kodomo-mental.com

講師紹介

大藪　泰

早稲田大学文学学術院教授。発達心理学専攻。博士（文学）、臨床発達心理士、早稲田大学第一文学部心理学科卒業。乳幼児の発達相談の経験から、共同注意の重要性に気づき、現在もその複雑な世界の解明と全体像の構築に向けて研究している。単著に『共同注意』川島書店、『新生児心理学』川島書店、『赤ちゃんの心理学』日本評論社、編著に『共同注意の発達と臨床』川島書店、『テキスト現代心理学入門』川島書店、共著に『人間関係の生涯発達心理学』丸善出版、訳書に『乳児の対人感覚の発達』新曜社、『乳児のコミュニケーション発達』川島書店などがある。

井口由子

臨床心理士。早稲田大学第一文学部心理学科卒業、東京都福祉局（当時）、公益財団法人児童育成協会こどもの城小児保健部を経て、現在こども・思春期メンタルクリニック及び市ヶ谷心理相談室勤務。
乳幼児期～思春期の子どもの発達相談、心理療法、保護者相談に携わる。

会場アクセス

住所：〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町８番地　TKP 市ヶ谷ビル

JR『市ヶ谷駅』より徒歩約２分

東京メトロ南北線・有楽町線『市ヶ谷駅』７番出口より徒歩約１分、４番出口より徒歩約２分

都営地下鉄新宿線『市ヶ谷駅』４番出口より徒歩約２分（A4 ではなく４番です）

＜主催＞

こども・思春期メンタルクリニック

〒１６２－０８４５

東京都新宿区市谷本村町３－２２ナカバビル９Ａ

Tel＆Fax　０３－５５７９－２７９５

セミナーに関する問い合わせ：seminar@kodomo-mental.com

※原則メールでの申し込み・問い合わせとなります